

らしんばん ~橋本ひろし 活動報告新聞~

〒270-1515 栄町安食台5-18-3 TEL:0476-80-0808 FAX:0476-95-7877 <http://hashimoto-hiroshi.jp> hiroshi8221@dream.com

平成21年6月定例議会

議案第一〇号

一般職の職員の給与に関する条例および栄町長の給与、旅費に関する条例の一部を改正する条例人事院勧告を踏まえ、職員・町長に対する6月に支給する期末手当、勤勉手当の額を暫定的に減額する措置を講ずる所用の改正

賛成10 反対5 よって可決

概要

今議会に提出された議案において、町長と役場職員の期末手当および勤勉手当の0.2ヶ月分が削減されることになりました。

これにより栄町職員の給与が一人平均約七三〇〇〇円/年、栄町全体としては約二〇〇〇万円の削減となります。

橋本賛成理由

栄町独自の財政健全化計画と今回の給与削減により給与が二重にカットされることとなります。しかしながら、町の運営は、町の収入や地方交付金によりなされていることは周知の通りですが、仮に、この議案が否決されたとすれば、県や国より栄町の財政は、厳しくは無いと判断され、交付金を削減される可能性があるのです。だとすれば、私たち栄町民全体の不利益になる可能性がある、と言っているのではないのでしょうか。

従って、私は、この議案に賛成致しました。

また、個人的な考えを申し上げます、栄町の職員・町長の給与をカットすることに議員として賛成した訳ですから、私どもの議員報酬を削減することも、必要だと考えております。栄町議会へこのことを検討し、実施するように要望していきます。

平成21年7月臨時議会

議案第一号

平成21年度栄町一般会計補正予算
経済危機対策関連事業が予算化され、道路整備、小中学校情報通信技術環境整備、公共施設整備、婦人科がん検診などを行う。

今回の補正予算(約四億九〇〇万円)の主な事業の内訳
道路整備・・・一億四一〇〇万円
小中学校情報通信整備(小中学校へのインターネット環境整備、デジタルテレビ・パソコン購入、アスベスト除去等)・・・一億六八五六万円

公園、遊具等の改修工事・・・九九二万円
婦人科がん予防対策事業・・・九六〇万円

議案第二号

栄町終末処理場電気設備更新工事請負契約について
老朽化に伴う終末処理場受変電設備などの更新工事
契約先 (株)東芝 東関東支店
契約金額 一億六八〇〇万円

全員賛成

報告第一号

専決処分報告について
除草作業時の飛び石による走行車両の損傷事故の和解

報告第二号

専決処分の報告について
粗大ごみ収集運搬車と自転車との交通事故の和解

一歩一歩
前進しています!



① 教育民生常任委員会報告

平成二〇年七月二日に教育民生委員会委員として布鎌小学校を視察致しました。その際、校舎の屋上に通じる天窓から雨漏りが発生しており、踊り場が傷んでいるのを確認しました。

そこで後日、川崎町長へ補修工事の必要性を訴え、町長より自ら現場を見て対処したいとの回答をいただきました。

そして最終的に、町長に現場を確認し検討していただいた結果、天窓の補修工事が決定した次第です。

布鎌小学校の子どもたちは、気もちよく学べる環境で元気に学校生活を育んでいただきたいと思います。

② 昨年の一般質問で取上げた
学校支援地域本部事業が
スタートしました!

学校支援地域本部事業とは、学校教員の補助や学習環境整備、登下校時の安全確保などの学校支援を地域住民がボランティア員として行うものです。これは住民によるこうした援助によって、先生方には時間的な余裕が生まれる一方、他方では子どもたちと向き合う時間が増えることとなり、ひいては地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施するものです。

この事業により、子どもたちは、地域の皆さまとの関係、支えを肌で感じ、様々なことを学んでいくことができるようになるのではないのでしょうか。

既に、安食台、北辺田、酒直学区等でもふれあい推進員、地域のボランティア員の方々が登下校の安全を確保したり、子どもたちへ様々なイベントを開催しております。

名称自体は異なりますが、いずれにしても地域で学校、子どもたちを支える仕組みがより一層、必要になってきているのではないのでしょうか。

このたび、竜角寺台小学校で、学校支援地域本部事業がスタートしたことは、栄町にとって意義のあることだと思えます。

例えばこんな活動があります

● 植木の剪定



● 登下校時の安全指導



● パソコンや英会話の講師



● 農作業指導



● 家庭科図工の補助



夏の思い出

先日、久々に栄中ソフトテニス部のみんなと集まった。中には、何十年ぶりに会う人もいるのに、会話がとめどなく弾むし、気を使う必要もなく話すことができる。冷静に考えてみると、こういった関係は、不思議な気がする。

そういえば、中学時代のちょうど今時期の夏休みは、真っ黒になりながら、毎日、テニスボールを追いかけすることに明け暮れていた。お休みは、私の記憶だと、確かなかった気がする。とにかくきつくて、きつくて...私だけじゃなく、みんなも一番きつかったのはあの頃だと、口を揃える。

思えば、勝負に負ける悔しさや勝つ喜び、そしてチームメイトと励ましあいながら、きつい練習や試合を乗り越えることの面白さ・達成感を生まれて初めて知ることができたような気がする。ちなみに、今になっても最後の負けた試合は、夢に出てくる時がある。あの時、仲間や後輩たちが自分のことのように私を必死で応援してくれる姿を今でも忘れることができない。ああ...何としても勝ちたかった...

話は戻るが、今までの会わなかった時間を越えて、会えばすぐに、楽しく時間を過ごせるのは、中学時代のあのきつい時間を各々が三年間耐え抜いた、ご褒美なんだと思う。

この集まりの最中に、当時の顧問の先生に電話をかけて、みんな電話を回しながら話ができただけだが、先生と話するとき、みんな、つつい正座になってしまうことごとく、おかしかった。私は、先生とみんなとテニスに出会って、幸運だったと思っている。

地域に根ざした教育について

私は、今32歳ですが、栄町の歴史や文化を次の世代へしっかりと伝えていくため、私の世代としての使命があるのではないかと真剣に考えました。ここで私の一般質問の概要を紹介させていただきます。

「教育」という行為をもっとも素朴に理解すれば、それは私たち大人が、これまでの先人達から引き継いだ「文化」を、次の世代の子どもたちへ伝達することにあると思います。少し掘り下げて考えてみます。では、ここでいう私たちの「文化」とは一体何でしょうか？

「龍角寺」、「大鷲神社」、「岩屋古墳」等・・・これらの文化財は、栄町の歴史を語る上では、欠かせない重要な要素であると思います。

しかしながら、「文化」には、有形（つまり形を残しているもの）のものと無形（形のないもの）のものがあるわけです。文化の保存、伝承といった観点からすれば、この無形の文化を如何に残すかが実は、重要な課題ではないでしょうか。誤解を恐れずに言えば、先の岩屋古墳などの有形の文化財は、おそらくこれからも国の指定などを受けて残っていくことでしょう。

一方、無形の文化（例えば、先人たちの生活文化や過去の学校教育文化など）は、実は「後世に残そう」とする強い意志がなければ、それらを伝承することができないように思います。

そこで、そういった文化全てを体系的に表す「栄町史」が重要な役割を果たすのではないかと考えるようになりました。

現在、栄町史は、全16巻の発行予定で、一巻のみしか発刊されていません。もちろん厳しい財政難という現実問題とも折り合いをつけなければならぬことは、痛いほど私も理解しております。とはいえ、当初の計画を修正（縮小）もしくは、見直しを図り、町史を完成することは急務の課題であると考えております。

昨今では、こうした地域の歴史的史料を学校教育現場へ有効に活用させ、中学校にて授

一般質問



業を試みている神奈川県藤

沢市のような文化・歴史を尊重している地域も実際にございます。

また、地方分権が推し進められる中、ますます地域が個性的な行政を行うことが求められてきています。

栄町が独自の個性を考える上では、まずはその地域の独自性を歴史的な観点から理解する必要があります。その地域の過去の事例を参考にしながら、将来の施策を講じていくことが肝要になります。この意味からも、今回の一般質問がこれからの栄町へ意義あるものになればと願ってやみません。

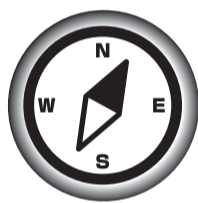
<http://hashimoto-hiroshi.jp>

栄町 橋本ひろし

検索

栄町 橋本ひろしで検索！！

インターネット版 らしんばん



近隣地域の経営者の方々との懇談を終えて

様々な大手企業が、来年度の新卒の採用者数を大幅に削減したり、人員削減計画を発表しております。このような今日の日本を取り巻く深刻な経済状況は、大企業だけでなく、地域を支える中小・零細企業にも確実に影響が及んでいます。

栄町においても、この状況は他人事ではありませぬ。商店をはじめ、業種を問わず中小企業は、疲弊しています。商店を営む私の友人も、残念ながら、苦しい状況から他の仕事と兼業しはじめました。

もちろん、商業活動は自由競争が基本で、あらゆる経営努力をその会社の責任において進めていくことは、企業として当然の責務です。また、お客様に対して、いわゆる「つながり」「つきあい」だけで生き残ることは、難しくなっています。発想の転換、工夫を凝らし今のニーズにあった経営が求められていることは、間違いありません。

しかしながら、皆様の目に普段は見えづらく、自分の商いとは関係のないところで「地域のため」と、ボランティアやイベント企画など、ひたむきに頑張っている自営業者が栄町にはたくさんいることをこの場をお借りして、皆様にご理解していただきたいと思います。

もちろん、私は自由競争を否定する立場ではありません。ただ、そういった「企業としての公共の精神」を消費者が商品を選択する上で、考慮に入れていただくことは、地域を支え、活気がある町へしていく為の重要な要素になると考えております。町の商工業者が活気づけば、結果的に町が便利になり、住みやすくなるのではないのでしょうか。

長くなりましたが、中小業者は、今、この状況を打破すべく、前向きに乗り越えていかなければならないところです。しかし、光明を感じたこともありません。集まった経営者の方々が決して周りのせいにするのではなく、「自分の経営努力で何とか乗り越えていこう」と、士気をもった人たちが多かったことです。この前向きなモチベーションこそが、この難局を乗り越えるキーになると思います。

九代米沢藩主であり、藩の苦しい財政を再生させた上杉 鷹山（ようざん）の格言を自分に言い聞かせつつ、最後に、皆様にご紹介いたします。「成せば成る 成さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の成さぬなりけり」

あとがき

昨年より、あたたかい皆様の励ましを頂きながら、栄町議会議員として活動を開始してから、約一年が経過しました。これまで様々な地区でたくさんの方々とお話しする機会がありました。地域の方々、学校関係者、小中学生、ボランティア活動をしているの方々です。

子どもたちからは、「栄町の自然が好き」「栄町の歴史をもっと知りたい」という声を聞きました。また、大人の方々からも「子どもと積極的に交流をもって歴史や文化を子どもへ伝えていきたい」という声をたくさん聞きました。

私は、栄町の文化や歴史を後世に伝えようという方々と触れ合う機会に恵まれました。そこで、私は栄町の歴史や文化を積極的に伝えていかなければならないと、真剣に考え、去年の一般質問をさせていただきました。

これまで学校教育（栄町の財産である団塊の世代の方々の活用、学校支援地域本部の提言）、家庭教育（親になる前段階での親の養成という観点からの提言）、社会教育、そして、今回の地域に根ざした教育への提言と精一杯全力で走ってまいりました。それは、今こそ地域が子どもたちを守り、育てていくことが大切なことだと思っております。

これからも、「ふるさと栄町」のために全身全霊で頑張っていきたいと思います。皆様の変わらぬご支援とご指導を若輩の私に賜りますようお願いいたします。

橋本ひろし

橋本ひろし後援会

橋本ひろし後援会は、随時会員募集中です。お気軽にご連絡お待ちしております。

0476-000000
hiroshi8221@dream.com